

女性輝くの活躍を応援します

誰もが自分らしくいきいきと働ける社会の実現に向け、私たちは何をすれば良いのでしょうか。女性が安心して働ける職場は誰にとっても働きやすい場所なのでしょと考えると、今回は女性の活躍を積極的に後押ししている市内の男女共同参画会社づくり宣言事業所にお話を伺ってきました。



小林食品 株式会社

(男性31名、女性31名)

多様な原料と幅広い加工技術で削り節からだしまでさまざまな業務用商品を製造。燈節に「おいしさと安心を」

取締役業務部長 **川久 倫夫 さん**

女性が活躍できる職場に

うちの会社は女性が多く働いてくれているので、女性が働きやすい環境を整えるのは、会社として当然のことだと思っています。近年は新卒の採用も積極的にやっているのですが、若い人も働きやすいように、会社としてさまざまな環境を整えようと思い、取り組みを始めました。

STAFF VOICE

周りの理解と助け合いに感謝

現在3歳の子どもがいますが、急病の際や行事でお休みをいただく時も、周囲の理解があります。

「誰でもできる」を言葉に、誰もがどの仕事もまんべんなく経験し、誰かが休んでも代わりがすぐに入れるような態勢づくりができています。

性別や年齢に関係なく、信頼されて仕事をやらせるので、責任感も生まれます。言われたことかやるのではなく、自分で考えたいことを試すこともできるのやりがいを感じます。長く働き続けたいと思う会社です。

わが社のイチオシ

産休や育児休暇はもちろんのこと、保育園が見つかるまで育休を延ばしたり、復帰後も不安なく働いてもらえるように、時短勤務にしたり、本人の希望の勤務形態を取り入れています。1時間単位の有給休暇、パースデー休暇、介護休暇制度があり、全社員が取得できます。また、人事評価制度を導入し、管理職が社員との面談を定期的に行っています。会社をよりよくするために、社員からの希望や意見を聞いて、柔軟に対応しています。

男女共同参画意識の先に

女性は新しい仕事に対して一歩引いてしまう傾向があるので、一歩前へ出て、仕事や自分の幅を広げてほしいと思います。若い男性は、女性が重いものを持っていたら自分が持つ、高い所の物を取ろうとしていたら自分が取るなど、もっと気遣いができるようになるといいですね。

声かけや気遣いは、トップやリーダーが率先して推奨しています。自然に声かけができて、職場全体で、働きやすく休みやすい雰囲気づくりができればいいと思います。

わが社のイチオシ

社員の誕生日が載っている自社カレンダー

有限会社 池ちゃん家・ドリームケア

(男性45名、女性57名)

目配り、気配り、心配りをモットーに高齢者支援から子ども支援まで多様な事業を展開。

代表取締役理事 **池谷 千尋 さん**

わが社のイチオシ

事業を始め20年になりました。当初から行ってきたことが、充実し、安定してきたときに宣言事業所になりました。認定書をコピーして各施設に貼ることで、職員の意識が高まりました。

わが社のイチオシは、併設されている保育所に子どもを預けながら働くことです。さらに、介護職という有給休暇を取りにくいイメージですが、取得の推進をしています。パースデー休暇、連続して3日取得できるリフレッシュ休暇などもあります。

8人の女性管理職

職員の人数は、正社員36名、パート66名です。24歳から72歳までの職員が働いています。パートから正社員に登用することもあります。逆に正社員からパートに変更することもあり、職員のニーズに合わせて雇用体系は柔軟です。自分たちが仕事に必要な資格を積極的に取る職員も多くなります。自分たちで考え、動いて、反省して、行動することは大切です。女性が活躍する職場ですが、3年目に管理職になる職員もいます。管理職の9人中8人は女性です。

年4回のラブレター

「家庭や子どもが1番、仕事は2番」と、折に触れ職員に話しています。職員が幸せでなければ会社として意味がないですからね。年4回、職員全員に手紙を出していますが返事をくれる職員もいます。ラブレターとも言える手紙は、職員との距離を縮めているのかもしれない。職員の間に壁がなく、管理職同士の横つながりが強いのも特徴です。

STAFF VOICE

定年まで働きたい職場です

お客様との距離、社長との距離が近くアットホームな職場です。仕事内容にも満足していますし、チームプレーで無難な残業も定年で帰ることもできます。仕事面での充実が家庭に良い影響を与えているのかもしれない。今の目標はスキルアップのために資格を取ることです。資格取得をすることで職場のお役に立てればと思っています。休暇も取りやすく働きやすい職場なのであれば定年まで働きたいですね。

わが社のイチオシ

リズミにのれるお昼ごはん

株式会社 サンロフト

(男性28名、女性26名)

ICTコンサルタントとして、企業や官公庁、教育・保育施設の課題解決に取り組む事業を展開しています。

広報マーケティング室長 **鈴木 あゆみさん**

「えるぼし」認定で三ツ星に!

もともと女性が活躍している職場でしたが、平成26年「ふじのくにでしこ企画100選」に推薦されたことがきっかけで女性活躍推進の制度化を意識し始めました。宣言事業所になってからは、メディアや県・市にも注目していただけるようになりました。その後は「えるぼし」の認定を受け、改めて現状を振り返ると、自分たちの環境がとても恵まれていることに気づき、仕事にも自信が持てるようになりました。

また、「えるぼし」を取得している他の企業との信頼関係も築けたことで、営業活動にもつながっています。

STAFF VOICE

後輩につなげていきたい

社長は、個々の事情に合わせて柔軟に対応してくれています。元々社内外の関係者とネット上でコミュニケーションを取っていたので、在宅勤務を取り入れても無理なく仕事できました。日報を共有する「nanoty」によって社員との交流も図れています。サンロフトは男性・女性に関係なく仕事の機会をもらえるので、やりがいもあり満足度も高いです。

また、働き方の多様な制度活用は、周囲の理解があることが重要です。在宅勤務の利用者としては私が第1号となりましたが、自分の経験を活かしながら視野を広げていき、女性がもっと働きやすい環境を後輩につなげていければいいですね。

わが社のイチオシ

IT企業ということもあり、社員同士のコミュニケーションに自社開発の社内SNS「nanoty」を活用しています。社長も社員も毎日書く日報は、「nanoty」を通じて社員全員が見ることができるとで個々の事情もある程度わかり、協力体制も取りやすくなっています。

社員が感謝の気持ちや伝えたいメッセージをポストという制度があります。コインは、社内のカフェなどで利用できます。

働き方改革プチ知識

「えるぼし」マークを取得しましょう!

一般事業主行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍推進に関する状況が優良な企業は、都道府県労働局への申請により、厚生労働大臣の認定を受けることができます。認定を受けた企業は、認定マーク「えるぼし」を商品などに付すことができます。

こんなメリットが!

- 優秀な人材の確保
- 企業イメージの向上
- 職場環境の改善
- 公選選の加点評価

1段階目 2段階目 3段階目

図表: 女性の年齢ごとの労働力率 ※1の推移

年齢(歳)	昭和52年	平成9年	平成29年
15-19	17.1	72.1	82.1
20-24	46.0	75.2	73.4
25-29	46.2	77.0	79.4
30-34	54.9	78.1	72.1
35-39	60.0	77.0	79.4
40-44	65.0	77.0	79.4
45-49	65.0	77.0	79.4
50-54	65.0	77.0	79.4
55-59	65.0	77.0	79.4
60-64	65.0	77.0	79.4
65-69	65.0	77.0	79.4
70~	10.0	35.0	35.0

出典:平成30年版男女共同参画白書(内閣府)より一部抜粋
※1 生産年齢に達している人のうち、労働力として経済活動に参加している人の比率

第3回 父弁・じいじ弁フォトコンテスト

男性が作ったお弁の写真を募集します。お父さんやおじいちゃんなくても大丈夫!

募集期間 8月4日(日)まで

大賞、優秀賞、特別賞には賞品があります。ご応募お待ちしています!

詳細はこちら!

編集後記

取材では会社のアットホームな雰囲気が伝わってきて、社員の方々が仕事にやりがいと責任を持ち、長く働き続けたいと思っていられるのが印象的でした。働き方改革に関する意識調査では、期待と不安が半々だったところでもうひとつが制度については、様々な意識改革も必要なのではないかと思いました。④

取材を通して感じたのは、本当の「働き方改革」とは働く側だけでなく、会社自体にとってメリットが有るもの、ということ。はつらつとした女性たちと和気あいあいとした職場。これからも、少しずつでも世の中が良い方向に変わっていくと嬉しいですね。⑤

10



6



8



7